

地質情報展2005 きょうと 大地が語る5億年の時間^{とき}

吉田 朋 弘¹⁾

2005年9月18日(日)～20日(火)の3日間, 京都大学吉田キャンパスの吉田南1号館(京都市左京区吉田二本松町)地階において, 地質情報展を開催しました。会場予約の不便から, 実際は2.5日(18日は, 13:00開始)の開催期間となりましたが, 1,200名を超える来場者で賑わいました。しかし, 早くにお越しいただいたお客様や, スタッフにもご迷惑を掛けてしまいました。ここに, 深くお詫び申し上げます。

地質情報展は, 地学の啓蒙・普及や理科離れが叫ばれている子供達に気軽に地学を楽しんでもらう機会を作ることを目的として開催しています。遡れば, 1997年10月に福岡市立少年科学文化会館(福岡県)で開催した「九州地質情報展 知っていますかあなたの大地-地質学が探る九州島-」を皮切りに, 今回が9回目となります。開催時期・場所については, 共催している日本地質学会年会に合わせています。

今回は, 「5億年の地史が語る京都の生い立ち」「オーソコーツァイトは大陸からの手紙」「舞鶴帯-古生代島弧の断片-」など34テーマのポスター展示, 「グラブ採泥器でマンガン団塊を採ろう!」「パソコンで地学ク

イズにチャレンジ!」など9体験コーナー, 「地質なんでも相談」など3特設コーナーで構成されました。会場が, 地階であったため受付を外(写真1)に作り, 下の階段脇には化石や鉱物の拡大写真を並べ(写真2), 入口のドアでは地質標本館のマスコット「ジオくん」(写真3)がお迎えしました。入場すると, オープンスペースには拡大した各種地質図を床貼りし(写真4), 壁にはポスターを展示しました。各部屋に体験コーナーを配置し子供達の楽しそうな笑顔が溢れていました(写真5, 6)。

今年は, 事前宣伝が不十分だったこと・京都駅(JR)から会場まで遠いこと・会場が大学構内であることなど, 一般の方が気軽に来られるのが気がかりでした。私たち情報展事務局の殆どが京都駅近くに宿泊していましたが, 早朝からの市バス利用の観光客や車の多さに驚かされ, 会場までの往復に四苦八苦しました。話がそれてしまいましたが, 地質情報展は, 毎年開催場所が変わりますので, その地その地の効率的な宣伝方法を模索するのは大変です。好意的な意見で「もっと宣伝を上手くやれば来場者が増えます



写真1 受付。



写真2 化石や鉱物の拡大写真。

1) 地質情報展事務局 産総研 地質標本館

キーワード: 京都, 地質情報展, 日本地質学会, 普及活動



写真3 「ジオくん」がお迎え。



写真6 体験コーナー2。



写真4 床貼りした地質図。



写真7 小学校の団体。



写真5 体験コーナー1。

ます。結局は、宣伝ポスターやチラシを、各学校や報道機関等に投げ込むことしか出来ません。それでも、今年日本地質学会年会の会場に隣接していましたので学会員の方や、学会企画に参加していた高校生が多数来て下さいました。さらに、小学校の団体(写真7)や近隣小学校の生徒が友達と、若しくは親子で来て下さいましたので会場も活気づき安心することが出来ました。

今年、地道な普及活動である地質情報展が、日本地質学会から学会表彰を受け(写真8)、記念の楯(写真9)を授与されました。情報展開催中なので、正装していない事務局3人は壇上で場違いな雰囲気醸し出していましたが、受賞に際し、ご推薦・ご賛同して下さいました方々に感謝いたします。

ところで、私には情報展が終わった後に楽しみが一つございます。それは、アンケートを1枚1枚読むことです。集計し報告する目的もあるのですが、その文

よ)とか、具体的に「○○情報誌に投稿したり、△△に連絡するといいですよ」など、アンケートに書いて下さる方もおりましたが、宣伝時点でこれらの情報は皆無で、次回に活かそうにも開催場所が変わってしまい



写真8 日本地質学会表彰受賞.



写真9 日本地質学会表彰の楯.

章や字体を見て「楽しんでもらえたんだ、やって良かった。」と思える瞬間です。私は裏方ですので、会場で動き回っている子供達を見ることはできても、展示や体験で、直接子供たちに接することは殆どありません。アンケートには906人(小学生以下240・中学生17・高校生46・大学生113・一般254・地質学会員203・その他33)がご協力下さいました。ありがとうございました。自由に書いていただいたご意見から、いくつかそのままの言葉で紹介致します。

小学生

- ・ おもしろい所があっついでいえにかえてやってみたかったです。(かみでちきゅうぎをつくったりすなを虫めがねでみたり)とてもたのしかったです。またきてこんどはちがうおもしろいことをしてみたいです。
- ・ 鳴り砂はびっくりしたし、いっかい足でふんでみたい。化石レプリカも楽しかった。液状化はふしぎに思った。でんしんばしらとかがおちてくるなんてすごいと思った。
- ・ 砂をふると鳴ったり、地しんで、ビルがたおれたり、すごいこわいこともあるけれど、いろいろ体験したのは楽しかった。
- ・ 石をわる所では、石がかたくて、大人の人にわってもらいました。「化石レプリカを作ろう」のコーナーでは、化石を作れてうれしかったです。またあったら来たいです。説明員の方は、わかりやすく説明してくれたのでうれしかったです。来てよかったです。

中学生

- ・ よく分かる説明でとてもおもしろかったです。でも、もうすこし展示が多くあればうれしかったです。

高校生

- ・ 説明の紙(プリント)のようなものが欲しかったです。鳴り砂をもらえたのはとても良かった。
- ・ 自分と地球との関わりが身近に感じられた。地質について、日本だけにとらわれず、他国の地質とも比較、分析してみたい。例えば、ハワイでは黒砂海岸という溶岩でできた砂で構成された海岸がある。オーストラリアのエアーズ・ロック(ウールルー)には赤砂が広がっている。それらはどのような違いがあるのかというのを調べてみてもおもしろい。
- ・ 授業でやった事だったけど、生で見られてよかった。活断層がわかりやすかった。
- ・ 前の人が長い間いすわっていて待たなければなりませんでした。
- ・ 地学について大学で調べたいと思った。
- ・ 私が地学が好きだということを思い知らされた。

大学生

- ・ 展示パネルの文章が長い。もっと簡潔に書いてほしい。
- ・ 今回のような、小学生や中学生に岩石や地質、化石に触れる場をたくさん提供してあげて下さい。

一般

- ・地質図を一般の人が理解するのは本当に大変だと思う。その点、活断層図はどこにあるかわかりやすい。自然ともっと共生する力が必要と感じた。
- ・液状化の起こる原因などわかりやすく説明していただきました。子どもについてきただけですが地質学に興味を持ちました。
- ・小学校の地層や大地のつくり、岩石・地震などの学習に参考になりました。特にペットボトルの液状化の実験は授業に使えるそうです。
- ・河川地形の水そう実験は面白いです。説明員も優しく熱すぎず適切でした。中学や高校やあるいは小学校に1つあるといいですね。理科のスタッフらしいですが。
- ・非常によかった。定期的に催して欲しい。子供もとても喜んで体験していた(小学生4年)。説明員の態度も非常に良かった。
- ・小学生向けアンケート(ひらがな)も用意していただけたらと思います。
- ・夏休みに開催していただけると子供達の自由研究に役にたつと思います。
- ・親子で楽しめるこのような企画は、ぜひ今後も続けて下さい。
- ・子どもへの説明が難しいと思うが、順番通り進めようとするのに無理がある。興味あるものからストーリーを展開させて行けるように組み立てが必要ですね。(家での子供との接し方が見えます)
- ・ポスターの字が多い。カラーでカラフルなのは良い。説明員が誰かわかりにくい。

地質学会会員

- ・展示方法など、年を追って進化していると感じました。子どもたちの参加が多くて、よかったと思います。
- ・全体の統一感がほしいです。順路があるといいと思います。
- ・順路が不明確だった点がだけが惜しまれます。
- ・展示がわかり易くて良かった。一般の人にはとっつきにくい地質についてわかり易く示してあるのが良かった(一般の人がどこまでわかったのか疑問ですが・・・)。体験コーナーはどれも良かった。も

っと多くの(子供)が来れる場所だと良いのもったいない。パンフレットは、ペーパークラフト的なものがキャッチで良いのかなあと思った。今後参考にさせていただきます。

- ・説明員は親切だったが、説明員が来場者数に比べて少ないように感じた。
- ・展示数が多くて、アンケートを書くときに、どれがどれなのか、よく分からなくなりました。

皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

アンケートの意見の中で特に気になるのが、「定期的に開催して下さい。来年もまた開催してください。」というご意見を多数いただくことです。楽しんでいただいた故のご意見とありがたく感じる反面、現状において「年に数回」とか「来年も同一場所」で開催することは困難です。そこで、情報展で作成したポスターを学校等において有効利用していただけたらうれしく思っています。現在、地質情報展(2001北陸・2002新潟・2003静岡・2004千葉・2005京都)の展示ポスターは、以下のウェブページでご覧になれますので、ご自由にお問い合わせください。子供達が地質に興味をもつ一助になれば幸いです。

<http://www.gsj.jp/Gtop/event/calender.html>

長々と乱文・雑文にお付き合いいただきありがとうございました。来年(2006年9月頃)は、高知で地質情報展の開催を予定しております。良い情報がありましたら事務局までご連絡下さい。

最後になりましたが、ご来場いただいたお客様、ご後援・ご協力下さった皆様に感謝いたします。



地質情報展事務局

地質標本館

TEL) 029-861-3754

FAX) 029-861-3746

e-mail:g-05event@m.aist.go.jp



YOSHIDA Tomohiro (Working group of Geoscience Exhibition in Kyoto) (2005) : Geoscience Exhibition in Kyoto.

<受付：2005年9月26日>